真宗大谷派
浄恩寺

LINE　QR コード

令和５年　11月　第４６６号

浄恩寺同朋会報

電話　052-881-8474

本山東本願寺御正忌報恩講

毎年、本山では、十一月二十一日から二十八日まで、決まったお勤めがなされます。宗祖親鸞聖人の祥月命日の法要です。

右上は「阿弥陀堂」右下は「御影堂」。本来なら、ご本尊の奉られている「阿弥陀堂」の方が大きくて当然ですが、名古屋東別院程度、対する「御影堂」はその四倍以上です。その中央には親鸞の木彫が飾られています。倶に聞法し、学び、人生を考える道場としてたくさんの人々が集える場所です。

十一月二十一日初逮夜十四時開始この法要から一連のお勤めが始まります。初日の緊張した空気を破る龍笛「乱声」が響きます。そして、末寺では読むことない「正信偈」一時間三十分ほどかけてお勤めします。

翌日の曲目練習が終わると夕暮れ、入浴し、二十二時の門限に間に合うように夕食に出かけます。翌朝は、長い廊下を渡り、朝食といただきます。昼食も同じ場所です。この廊下の往復はいい運動です。

時間があると、紅葉見物にもよく出かけました。写真は「東福寺」京都駅から奈良線で一区。紅葉の本数は京都随一だと思います。清水寺の夜間ライトアップもほろ酔いでよく行きましたが。紅葉は探さなければ目につきません。

法要のクライマックス、最高潮に達するの二十八日御満座です。静寂厳粛を打ち破る声が発せられます。「坂東曲ばんどうぶし」（親鸞が越後へ流罪になる際、荒海にに揺れる船の中で一心に念仏を唱えたという説があ る）何十人もの僧侶が体を揺らして念仏を唱えます。

坂東曲が始まるとテレビ局の撮影クライット、新聞記者のフラシュが一斉に焚かれます。京都の冬の訪れとして毎年恒例の報道になっています。YouTubeで一度ご覧ください。銀杏の葉も黄金色に輝き、法要に花を添えます。この日を境に、木枯らしも吹き始めます。

南無阿弥陀仏

「浄恩寺御正忌報恩講法要」

十一月二十三日（木）勤労感謝の日

仏具のお磨きも終了しました。多くの方々が参拝聴聞してくださることを切に願っております。

南無阿弥陀仏